然害結正紫光祖一派の兇行と睨みこの方面に手配申である 紫高さは最近中山事件の被告楊文道の助 命運動 に狂奔し抗日テロに策謀してゐる廣東人の一般的の場合であってある、文脈公常はでも本地を重素に愛奇五際智質下収載に用砂し懸賞を吹大して拠人厳僚中であるが支那(統領)が行為なること明白で、統御事態禁続では収集的立の大利ホテルに懸ぎ本郎を聞き支那公覧高と紹力程入及び贈れ日テロ行為なること明白で、統御事態禁続では収集的立の大利ホテルに懸ぎ本郎を聞き支那公覧高と紹力程入及び贈れ日テロ行為なること明白で、統御事態禁続では収集的立の大利ホテルに懸ぎ本郎を置きて別公式高と紹力程入及び贈れていた。

「上海五月間間」犯行車場的立は金器によりオートバイ敷地で地

する方針を樹立、米ラ十二月十日 つて西牟斯に平和の領天地を建設

海末派園から盛んに更高があり 側近の人々も種を到ぎして心る 側近の人々も種を到ぎして心る には、一次アイレスを連ば出席方を考 底してみる、十七目には大流像 には、一次アイレスを連ば出席方を考 がリ事を関してが、ノスア イレスをお問げるものと康懇さ

年 エルト大議館は選 と続いれる、マックインダイア・ 機能に至前の大局 氏は五日左の如く識つた 南米諸國から騒んに理論があ

月間盟] ルーズヴ 様を南に進め寛藤に出席する策定【ハイドベーク五 向け魚釣碗海に出かけるが更に底

大勝の餘勢を驅り

解へられる、大統領は十七日巡洋

鹿兒島氏現場で語る

へ・ダンスポール衛よっ次和ポテルに入る難い路次に変し懸ってた際前りつけられたものである た。ダンスポール衛よっ次和ポテルに入る難い路次に変し悪つた際前りつけられたものである。 原題のである。原見高氏は実神路離離離出層に超近速返立での下に昇地越越を行つた、この月襲見島氏は返と手供二人を選れヴェ

ソ分配の中に襲つた懸から見て着生事像の手口と酷似してをり【上渡五日間盟】今夕の鹿兒島氏受験事代は子供連れの形人を暗

紫光社一派の兇行か

次を通行中突然一支那人に短刀で斬りつけられたが第の間は収く集論には帰属ない個人は共場から選生には自同盟。五月年後に韓士五分上市後、利国教養、任号、長力上して助力・出て、

五分上海檢番事務員鹿兒島茂氏は虬江路ヴェノス・

重光大使語る

極番事務員が虬江路路次を通行中

抗日テロ依然やまず

邦

斬らる

八に斬りつけられた邦入鹿兄島と取ったの意像は琉部の右側に短万線の功勢で斬りつけられたが虹のにじむ程度

の、その民地から会はアナルコ・ が、その民地から会はアナルコ・ が、に際しスペイン競技能は一会の 然に際しスペイン競技能は一会の がは、では、一会のでは、一会のでは、一会のでは、一会のでは、 の、その要言をの強う

日午町人等五十分書號)。 「教育定語」電光研究等大地は大 に「全國民に告ぐらの成」を確認 人司伊片関大地宮部配生を強へ六 しゃドリッドはそう。。 日年町人等五十分書號)。

常総郎龍に愛 日本赤十字此

御暗乘監轄大夫以下を随へさせ ませられ優温なる台門を賜つた において皇后陛下から賜はつ 【東京電話】 赤十字紅橋師

日常用と配配して要素した結果な、となったが原列の変型部で原発的を設定し、対象の表面となったが原列の変更の変更を変更した。 一て善優するものであることが明確、第7個学を中心に影響を派遣を終めると 一て善優するものであることが明確、第7個学を中心に影響を派遣の形田を設け で善度するものであることが明確、第7個学を求め

二時年より養相皆殿にて開産。梅 10第二回四相南部は乗っ九日午後

を表明したことは、政府域院對立「政政より版田首相との際現内容がを表に對し各省事務常局暴つて反対、相談既に援那委政府を联盟し城委院、「東京電話」十一月中旬総所召集 となつたので大日午後二時から首 となり停頓状態に陥つた部院制度、東流し期川に引航き距離召集所議

蔵院制度調査會ける再開

量してるる指標が旧氏の形式が如 を纏り或所述点の關係は肌るデリ

ートとなり政局は著しく緊張を

同特所委員曾今後の成行さは極

れからひとヲ減びに行って来る

7-0

第二回四相會議

作品の主要き上げ、第三全國に明印度の開発性急が、郭先理が

と、題のやらに膨下へ飛び出してのであらら。二三度館をすほめる

しられなかつた

何か込み上げ

てつばり色気

頭いて、

長の間先輩にて式場に顕ませ

ではされて武を終り同十一時式

趣法記念館に 野は六日諸山

学祖の理様を開びされかくて十割あらせられ徳川祖長から赤十

注目される

「東京電話」等の贈相は六日の解議で報告制度改革に関する関係の版本物師のを行ったけたる説に関り根意を正しく映達せられる議論にしたい、政治に関する意志選及については健静養法に関り根意を正しく映達せられる議論にしたい、政治に関する意志選及については健静養法に関り根意を正していては健康した。政治に関する関係の場所を求めた。 ・ は関係を求めた。 ・ は関係のを明から、は、政治に関する関係が、政治に関する意志選及については健康、政治の解析を求めた。 ・ は関係の、政治を指数し、政治に関する関係の版本物師の主旨をたの如く ・ は、政治に関する関係の版本物師の主旨をたの如く ・ は、政治に関する関係の版本物師の主旨をたの如く ・ は、政治に関する関係の版本物師の主旨をたの如く ・ は、政治に関する関係の版本物師の主旨をたの如く ・ は、政治に関する関係の版本物師の主旨をたの如く ・ は、政治に関する関係の版本物師の主旨をたの如く ・ は、政治に関する関係を表し、対象を定し、対象を表し、対象

寺内陸相根本趣旨を説明

を撤去記念館に御者、便優に入

愛婦總會 丁字社總會並に 畏くも優渥なる今旨を賜ふ

朝香宮、久運宮、同大妃、北

権を責せられつつ屋上から御した各常に回り我國の工事の

日川宮、同妃、竹田宮、河大、庭宮等あそばされた、午後三

内蔵があつた。この日午前十一部經管、建築工藝の限りを確

内壁を現の寄りら西大公使の「治」原形。 財刑制長架等順天系を輝くらもを呑り譲方の間、申上けつつ風臨職長部、委員ののでは、東京ののでは、「大部門が局長以下風深内

器成式を以つて無よ開前され

るが、これに先立ち六日御下 事堂下事に願し説明申上行次 事堂は七日が大に奉行される 三隣便殿に御少龍、鳥島敷和、 川越路接近城局長等より が投以下御出迎へ中上に一

馬揚獲相 光循、出旧巴米納院

ヴアレラ將軍入城作戦を練る リツド落城迫る

向け遊戯を阻着した、正午には既縁は 四日 柴嶋 首都マドリツドに 地を陷れ更にレガネス村を占據し一る、革命軍トレド司令ウアレラ将 で午後二時にはヘタフエ卒重板機一アンヘルス元を死守するのみであ に西南郊アルコルマンを聞きつい 五日間盟1スペイン革命電光統部 軍の草中に歸し臨府軍は飛行機十 【バルラ(マドリット南方十五階) エンス飛行場は四日夕刻途に革命 の使知な状況を坠してゐる に変わられ政府軍は重かに関南郊 四輩を置き去りにして消走した、

壁府軍はトルレホン、ヴァルデモ 騒に移し燃々首都入坂の作成を練た、衝戍總司令ボサス將軍艦下の 単は本登を首都開方十五キロの地 ロ各環職へ反撃を試みたが革命軍 つてるるが首都は朝来の部場

議會の權限縮小

全國民に告ぐ 下五日同盟」カバレロ 首相决意表明

一五ヶ年記載発行に願する大綱龍に一種目の開心が行はれる智 源語によう年前九号から副東京市。 専作とよう年前九号から副東京市。 専作との現場を時曜代表な日曜。 「東日郷五ヶ年記典会時曜代表な日曜。 「東日郷五ヶ年記典会の思い的主衆。 「東日郷五ヶ年記典会の思い的主衆。 「東京の人・年度は日曜年人部都に 大口着京安井程舎は建築地の。

老 『新製が出来たのに内部が馬 れ廻つて四平溜つた路をしべん



●電機に刺縮のため六三年後霞緑の深地頭鮮軍参謀と関東軍主催の

店へ発酵接受のたの同上、一点不能来訪

「こつちへ浴れといふのだら に見て来たの

间時に定吉はニャリと美つた。 道は、何事かをひそかに盛いたが うそんなら手町が後から行つて。 口を寄せた日

た。それよりも「緊急部化と「吹給」よるで、こんな時にやア色泉ア故の発悟で激戦の階級に起つさら、「あれだ。おめへ、甘えのも時に

政党代議士の一部有志の決化しより

で起つのが急が、狭死のほ常

滅ぶ、各分等局ボル最低があつたまづ次の如き總督師があり、局長 つある通信圏の掲骰等を申心に各 り、刺病的協元計器を進められつ 後年貞を築めりて他市の附 日道は突然腺を立てた。 に置するを整めりて他市の附 日道は突然腺を立てた。

レロ氏は四日夜半内殿改造を断行 一名より成り正に人民飛続調動設 部門隊迫を朝にスペイン首相カバ、バスク衝談一名、カタロニヤ左武 では、「マドリツド五日同盟」革命軍の「名、処産歌一名、カタロニヤ左配の「関連を断にスペイン首相カバ」 バスク酸歌一名、実和同盟」名、北産歌一名、実和同盟と名、

内閣改造さる

た、新内閣の頭扇れは此国際六 斯罗顾问盟二名、共和左派二·

の陣客である

平和會議に

展所问参照所即游長玩裝飾七中府 筑紫中將入城

山とおころのゐるとこへだ。」

「恐れ人りでする」

「行つてくんねえる」

『うむ、そいつア面自え直ぐに行 「知れてるちやアわえか。その様

一般といふなア間 遠ひ あるまいていき柳金から聞いたが、上垂の

森山橋とおこ

五分小磯軍司令世等に迎へられて が次の如く謎つた

収役の海田境が見か安達南盟に ・ うがへてゐた

に活躍にやらうおや

各機關代表協議可

「帰りながら柳金は、そんなこと」ろ標が一緒ンなつて、 「うむ、お町、ちか

「瞳にこの心で見聞けてめへり 「ことへ来いる

あの出音を またりまたが、強い能にあたって磁とに影響があったと語が、大きなしに影響があり、大きない。 大きない。 大き

山田巡信局長著任何の巡信分別の連続で用船

分掌局長會議

- 400

見て來たんだと云ひ張るし、それ たが、定吉ア随くまで二つの配で一をやらかしやアがる。 てきうだ。おいらもまさかと思っ

田

繪 作

森山の奴、

淋

治療に過ちがあると慢性にならぬ内に治る登明療法慢性にならぬ内に治る登明療法

来るが安全簡易に短期に治療が出素人が安全簡易に短期に治療が出

一や足りわえと見えて、 かいるたんざア次え収だ。 の背後の機が徐かに開いて。 いすつたなけられた芸者 かたっ 薄りで儲けた 配って だが

いてゐた日道

掘 當 醫學博士 深潮周東京日比谷病院長

> 先 生

| 本書 | 1 日本 | **繋寄としても真に連載の願みで**ならず期で、不慎不**順を興へる**

収組を聲明す

理事評議員は總辭表提出

分豐款 (東) 柴川喧玉▲八 甘應菱邦▲八時齊唱 九分英語勝座(大) グレン 八時お話島崎宗中▲六時

> 別部ので禁しい半日を適してもら 公曹校に批得し、お酌者さんまで 鐵以上の高齢者百九十六名を送過は九日の数老姿幼日に登内で八十

紫で八回に亘り六百箇の年間

近へ関語面指性質問題の問題問

成城西部戦化基本部の万大門署で

敬老會

散迷定せんとするのでなすに

本わが解傷結成の損本物時は、「が運動競技界は未育有の質製時」。このり過去の経験に値えて、樹してまで嫌失されるに至る。抑「四域を超過するにあり、刻下わ」。めここに我保管単立の根本物師した。日本の任物は、上を図っと共に、運動競技の向」。現に同じかけるに決し、ご等の任物は、上を図っと共に、運動競技の向」。知に同じかけるの遺を振すると、生まのでは、一つの実はに破いられたありては世界解されています。

肝臓協も改造

選手本位より一般體育へ

俄然!竹内體育主事けふ辭表を提出

富永會長の肚決

作業につとめた、一時は収塩を

抗災し国際中で他の近行に

星選某電々阻勝から下海艦日動復であつたが徐行中で直傷者はなく

一文字に乗り上げ乗器は附五十名 な道中は魏道から飛び出し魏道と 强化の急速實現を期す!

mオリムピック委員の帰京を得つ れが母の質行連動は最初、副品 着手することとし扱卵事、胸間

れを壁に憧憬部内の敗組、統創を一盟を確じ近く

したのでこの野長に命じて健院を組の具備を下

るが今の庭は不明です。

明朗スポー

ツ建設

見重の體育運動

本府に體育官各道に主事

起ニテ六百年第十一同世一開催電影理事等的一氏は今六日一」よりこれが改革を決励してゐた折一 より欧治を思望されてるたが実如した、龍陽時長常永遠傍局長も像て一間間の版本方針を樹立することに

進して全川スポーツの完全なる統計なったが、常永智式の貼は百歩前

・全のスポーツの完全なる統

愛國機を飛ばし

十日頃には京城に立寄る

本心心的政治心體於主部作內一氏

金祉何狡宵課長談

山氏(** 頭山南氏(***) 間在のはずである 原明所長四宮鐵華一日頃妆矣島飛行玛奢、京城に二日

鐵道事故の

防止映畵 一等四、二等二四五十段、三等

かり一の形態は行称食は三百斤を

単純する組幣急列ルは手荷物

一番はサービスデー、レコード館産館、料学、カフエーその他送を業

游域と強いであたところ前方から 通りを花焼町の自宅につれの女事 田花社さん(三)=幔名とが所継下

を終へた契節他に川支店物がの本

-四月夜八時頃仕事 | るので繋成してゐると、行きづり 70のミナト街に通り | 洋服の男が迫るやらに近づいて来

生衛

理學博士

納

壹萬六千個!!

店理代

して本爐が掲載されて居ります。 現代 中等化學」「現代女子化學」 松井元與先生(帝大總長)著

社會式株事商境區 門 本 所 州 長 新 館 易 貿 島 間

jř

曾

宵の仁川に悲鳴揚る

とを離し顔部のでは大党出し、版「離が現れた――四月次八時頃仕事」を、観光観のク、観光観像の夕な 【日川 皇紀』院のミナト街に通り

三氏をあげ、三月間に配り膨光の 職止器、三輪那太郎、稻垣辰男の □□一十銭と発送、頭に高米一ひ|南不定期列車科金

各急行も五百キロ迄最低

なるものとして五月喧戦光景を彫刻を開催したが、閏年度事業の主

通行の女性を

脅かす怪漢!

超問委選館を聞きりだ。「上六百平 秋には近境を飾の名目で羅枝楽に | 海域楽師、背景動語氏をあげ返逝、年刊十一時から府武錦標堂に観光 | の入籍に観光テモを取行し続いて | 田昇、戸嶋錦沢郎、三輪赤太郎、

花の京城を

の八達に観光デモを取行し続いて一田昇、戸町荷沢即、三福和太郎、

飾り、地元に決定、習行委員に門

秋々観光都を大宣傳

| 妓生巡を翻り買し「京城をどり」 | 動を開始するととなった

基及部州は三四度高目ですが其他 は平年に比べて平原、新報州、雄 は平年に比べて平原、新報州、雄

恶

は及びませれるになるに

9

へあれば!

17

地は大部分哨れて記ますが支那、 高額駆は本州に移り復端別には弱

六日朝の概況

西国オリムピック大闘を述べての 一及明年度事業計能の各種打合

採るべき態

を披露し内外地に呼びかけること

行することに決定、既行委員に伊

野で砂利を顕敬して上統中の

派成を隆一かり曳行中、京城制造 砂利的はその場に枕辺、 配兄 | 鑑品局では鑑定事故の防止な様の

國民精神作興週間協替

のこと揃って出發します

北美工

能としてるたがれられば敗正さ

八日(健康增進日) 午前八時 並是勝子門電

※1級(北海山の頂土で、龍から約)は開学)に続つてもかまひません

《私信莊城鐵器》文珠燈を言て京場に除る、韓道の起で往ぎは三程流具件、繰り巻子町准鵬(コース)間物學(高麗光の古職)種昭(音細黄舞光の鑑鑑館で、日本節古の石碑)商野観

門近で既含ます、ことで時間が充分ありますから豊質的に覚るとも用来ます

京

0

會費無料 お辨當と水筒は各自お持ち下さ

い、中食は文珠庵

拉上

山地天分談では荷館を設制版学と、日も引館され谷標帯部長が取講べ、の行方についての職場らしく、棚に、本山、9日、石口午後五井通ぎ後、恵まで取講べの上述らに教徒、六、風から纏めた客附金中の雰囲百團

國防献金にからみ問題起る

o簡單で、安くて丈夫なピクターストープ。欠呻せず、燃料少く手間入らず、焚付擂安石炭と廢物で發熱高く、其上に嬴の時期漏れず、鏖立たず、上蓋取つても煙出

元進盟 會 函 田 鍋 戶幹

憲兵隊に召喚さる

近江主流西水市西世州起明近

急行料金を改正

超特急は特急の六割増し

人は無残にも溺死

『ご三名は対域東大門、京都整道の「行中の文さんは引つばられて江中山田文昌洙(4、幸中植(4) 辛図西 | 反動で臨材制が下流に押し流れ曳 月朝十時十分明京議道楊平和舊一第は臨林斯にしがみついたがその

帰る十二月一日から

平野協能隊長初め、亘う長能能飛行を行ふはずで、十一故助正は傳興職を公開、極力事故 は自前現論のため、時代々木震馬瓦納铝銀十五日間に「入し事故郷生のおい活線地方で事要問義が飛行隊で「入架フォワカー健で六日午前十一」ため明年度最前で映覧機一碟を勝

> が、これからは斉スポーツ鹽櫃との連絡もうまく行かたかつたとの連絡もうまく行かたかつた整幅とその下の斉藤龍で斉皇校 統制へ進みたい、全鮮の斉學校全鮮打つて一丸とするスポーツとも規密に連絡をとりかくして 度原称には単生観音編組の向上 の機管組動として行きたい、これが関ルには機管は多なが関ルには機管は単位では では、1000円の向上の機管組動としてが には、1000円の向上の機管組動として行きたい、こ **薬年花の京城**

富永學務局長談 て根本的に開議する考へである。 のために補助金も担み込んであ ファイト一代の名前段 呪ほしい世紀の大悲 歌

とせるものにもて他に簡種頭の有効成分を王物種原料ビドノカルプ

仁川の潮時

滋·勞·味。 養。は で で 守る! 子菓 一片 マでキテスは個へそね すで酸五 すまりあに店子

根機械合名會配

中根式薬除過程型 中根機械合名館 中根機械合名館 中根状 (本) 中央 (本) 中央

一般天氣豫報① る全國駐在の

温むなりである。

めば、血液弾化療法と説明書述る今連化學研究所へ新聞名記入申込り手シンは要居に有。大阪市大仁

明治町で脱線し混雑 | 「特別のでは、日子のは、日子のでは、日子のでは、日子のでは、日子のでは、日子 院等継ぎ山野を明く 特神ド典説間に當り最老評及び建 京城旭町二、三丁目町町では関足 旭町 三丁目 敬老會ご登山 や御見送り被下御芳情・離仁に際しては遠路態。 別の御懇情を賜り旦つこれでは水年に亘り格 翌及び除城偏盟本部に於いて「食日兩日午前十時より午後四時迄同 町や太平通の古物語に変つてゐた。 ひかる 五日午後間時半頃

かくつた時に前面左側の心臓が抑薬菌は)が明治町電停的近にさし

(延報手作競技、小事

電車の頭曲り

清和女塾で

程具技術で特性の概然と取職を呼

万雅事が逮捕した、彼は母恋の青

平前まで 特性器店に みた変金可 知挽き人夫を迎及したところ、

新築落成 明治製菓品の京新築落成 明治製菓品の京

は迷はず本脈を服用されよ。一日々々と快方する。之際病の人

鵍 霷 城 德 京城 閉治町 西部共同 1572:4037:3939

手足のシビレは勿論、半身不随も 文中魔の鞭撻でも、本側を服用し

ヒレ・フルヒ キッレ・手足 加•常置便秘 まひ・息切れ 鳴り・履こり

なぜ悪 血液が V 濁り循環が惡くなる

酒と

サンフィマッと完成した。 は、して大高級のもので、全身の資金 を可能から肥準して離り如を準依 が、するので血脈が下る。迷うて上記 が、するので血脈が下る。迷うて上記 での能脈をよくなり、小脈脈卵や臍 にの能脈をよくなり、小脈脈卵や臍 にの能脈をよくなり、小脈脈卵や臍 にの能脈をよくなり、小脈脈卵や臍 市外運搬

選送

中 風

し、原因から治療する新良薬りた

犯人その場で就縛

【新藝州]四月午後十一時二十分

猫射に潰走

のと思み目下開會中全開始州の強縮事物に開始あるものと思み目下開會中

家に放大、路郷を開始するとよる 道源小蛤蘭川部器に侵入し同地民 名が東興餐祭器権で駐在所財政九ころ共産権英権政権の一部大士様

したので同所を既は直ちに曖昧、

|| に照著型部以来形成の開発では || 年間 | 世より称|

産を申り

大同署の活躍で悪事は暴露

忠雑貨商送局さる

お漬物季節 農村スケツチ

飛び出すほどの高値を唱い 殿いて大概も自然も配金が図作、今や記ものシーズン 一番 一というんといり いた雨で野魚は近年ない

| 日で終帯内日||十一米、出力と「霊科を浴びせた結果、脱した出車 | 第キロ、工豊三子萬國本第二級「関を追撃して脱垣助系師方面に選 | 第時は関面仏理で発売与十九。

感謝の建立

遊であつたのにいたく同情 の風水に繰られて原作物の被害激 学代子さんは伯父に當る井本正 で落除の書を所有する大田春日町 【大田】風水街に唱ぐ小門八を数 た桶にみる高特な地主さん犬

亡ぶ雲林教の遺物の敷々

が教の正體を曝す

安民、暗説新生、布徳大下の三大

断成功せば、天人極との敬義を記

「一」外脳係者十名は本年二月、

られて観視一年を言複され、日下の版本人収益度のみ他気法に踊ら

第一部指防が豊山郡 天曽西池野 といよのがその制御色等である人間側に連へられた水は

[平摄] 府内碍九里資料品雖低卸 | 田商店外五十餘頭商から約六萬風 | 田工作は用鑑視されてゐた陰重機 **毎氏の類価師を卸立してその部を** が廿億名はこの準備を永久に記念 し破割して教育したので小年人等 百石を年間にも足りの百世石

|の商品を仕入帳簿に記入せず同月 | 平関飛大職隊では去る五日襲艦隊 の問品を仕入れそのうち約二英国一盟は干額を利用し間次辞拠すべく

二十八日から上回に亘つてトラウ

を組織し利型に減した同様では強

四のヌクテが現れ受殺し散へ喰ひ一に領牛一頭を放牧しておいた民一 都配営治武第里李道九は自宅町原 【大師】去月廿八日夕方應北面日

物牛を喰 ふ

町十一時トラック二番にて現場に 延用の道具一切を照く去る五日午

小癪な匪賊

本師人を引致取調べた結果、同人

何領府內本町食料品推伐前面桑一地方法院撤軍局に設ってになった

絵初帯林敦の信者であつたが五、 別様が得り、も別様が関するというであるが続け、日本の様が得り、も

ので道野祭部では五日午後、第一

- 前九号を掘し特殊係を認動取し

安福河の主なるもの十年名を本 風埃俗を案す如き行ほがあれば 短折も自動物に壁止したことが 担 家徒の一登詞班を行ひ 飛務所を出所したばかりの登録前期したが同人は先月二十四日大郎 新として新郷に引進したものと物 在第二)といひ四日院署で行派病 で行派病 科者なのでそのまと問題取制へ

菓子屋さん新増税に反對

ts

V

京城菓子商組合の飛檄で

大邱も合流に決定

関係協分することを言明し各信者 十四日から

【辞山】 群山の秋季館馬大館は采

る十四日から一週間風温されるこ

(平理) 五月午旬二時十分紀平城

と歴史ない。死五名の不良を水上一母生、

即他員など十数名を特迫し

多いのでその励では豫て齊成中の「雙疆寺の記事で敬の島遣船組合路」り掲を配し題る不良の徒が非常に「し受豪店、カフェーを根城に遊興」

側科の肩書を賣物脅やかす

惾

口論から殺人 裏商店方で吹消中口前

し仲裁者があつて一端その思は

強力を勝つて示 統信の火事「統督工

恐蜗元郡守

强盗の片割れ逮捕

記等が

職けつけて

直ちに

羽しとめ 能解の連に店、金四子前回を飲む より回数な様、自己は常様を開発

と時間で収支運河政を記巻中、李・五十十町十一号巻田地方法院記載登し版内観石里老龍郎の野帯上野・鰕岬(2)に係る観覧事段の観歩は日野部に無誠で金砂雅弾の金を用(金山)底景、光度優裕線高分金田野路に無誠で金砂雅弾の金を用(金山)底景、光度優裕線高分金

後即を何者にか欲取された事性に

光月廿七日中町に時ころ

取詞べたところ、この老人は江殿 附近で花札を取り歩く老人を發見 能が三日後市内巡回中初衛町 が何のの手際ひに述り数十回の金

リムピック大館の





りさつあめかつとべ

も口方女淑も口方 あく句





中額が道路にめり込んだので単 のできれたこともある情報である 【水原】牛埠挽きの気れたが死り 牛車挽き、一人 牛が暴れて 車輪の下敷

場方面でもは極微単で問題のう



國乙ウ セラ染料資血物的店 水料 水 原 液 着 社会は精神が正面無本メアシトンキ 達用知省軍権

灯赤い

681 616

|型||三|金大心方で

でこと飲酒中些細などで日輪のは 回里選店協質金方で近所の事類孔 [漢州] 信用那過茶面松小里性四 |旭日朝鮮人三名、内地八一名を| 情を知つた者の所遇と目星をつ 酒席の喧嘩

農地帯貨物取扱者組合の第一號は「て取調中

「臨南」 解南生動町交流はいい巡

お手入れ前に解消

味敷珠繋ぎ | 編纂版人の一人が内轄日町三四山 | 版『編書歌馬』 (記述) 「大が内轄日町三四山 | 版『編書歌馬』 (記述) 「たった。 間、提励光から機取つた馬サージ 製態が削生を推開してをつたとの 店の元職(こ)方を腹ひ食力で務当(武者経察)パート語学組所内水玉里)〇一煙等小島) ジャ・ロジャース 【劉朝浦】 府以碑有里五五元江庙 の収息が出走するので求だかつ 圖々しい泥棒 1 ニング即では近月、子七日 松殻小屋に歸 密行追跡
切を奏し

六百個の春旗と耶乱を入れた事題。大同窓に即げられた――四日平後、長田北光億四令夏玄道後の殿に称。に逮捕されたがその片割れが四日、日本師はは養養新聞が、真夏(*5)だ去る十月十八日早間第二 いては単位が単位だけに砂路側で、一大時川が万年林里吹食店で最近していては単位が単位がでは、大時川所万年林里吹食店で最近している。一大時間後の洋田野年を大いては単位が、大時川所万年林里吹食店で最近し

店を襲つた二人担帰盗の片削れと ころ前記の如く水玉里の煙草小頭 老人の密輸

の映画化、全設摩日本版『來るペーカトミューナイト社『ばら色流

醫學脚土

渡邊背

髪 置とは子供が生れて

この質は軍服姿も現はたが軍服

西風な風趣を傳へる

最近投資の保健問題の緊要なって

世に然も深切な手厚い幅置を受け

いる學校内の事故設住を調査して

もあります。昭和十年度に於

見ますと次のやうであります

○鰡入り湯豆腐

湯

豆

腐

の顔に成つてある。その上日頃か

期は如何に、窓能が、

ら塔行物として知られてゐるから

15-1-2

一般、人々は他音に同情してから

と地震を打つて所伏せになつてし

一枚三付

の防寒用鴨・前割ア

と呼び撃を掲げたと同時に、慌

是校看護婦の手によりまして、

との叫びが年と共に大きくたりま

では色々の事故を起して居るので

して、これらの児童は何ぞ

収容して居り、このやらに母校の

于二、三百人以上も多数の児童 一間にも述べたでうに現校は何れ

不確を起したり継続したりする見のであります、中には壁板内で

の個性意を開願ひする大事であり 流行期になって参りますから一届

桑原直德氏談

- 寒氣加はり - 寒氣加はり

ソフリー 避礼器、デ

がかない。

肥何、見るからに過ぎうたで進を

僅か、年齢十五の値言が、大兵

行可は、呵呵の呼吸を計つてる

相手はしようと云ふのだから、是

見合って、見合って……まだ、

もの大たるものがあるのでありま

の壁がかくる。人情として是は仕などと、思妙勝から値害に感接

田東四と、生産親の敵を討つこと

の暦月。萬一この角力に勝つ事が

それだけに伽否としては命監け

一類の離だ

一個音、健吉ラ、玉龍を投げ段

流を相手にして、 郵政は行られてゐたが、併し、 霊 命、後處突兵前から御説のうちににしてるたが、解舌の方は一生懸

い事は他吉にもよく判つてゐた。

ら扱けて行きます、頭痛く入浴【間】 今年 七月生れ た赤ん坊特に頭耳の上、黒い美しいのか| | 一十一 | 上げるり・

子へ祟る?

のが自然である。ふけが多ければ関の終りには落よりも多く設ける

す硫酸ではないでせら

御手紙火では何か至く分りかわま

島伯 江正

美 占演

水三〇、を配日 | 回頭の地に途事 レゾルナン五、〇酒精七〇帝油三

₹ 1 3

織言しつかりやれ

地響たかく

日間京城本町大澤西湾で開かれ

して御殿なさい

じて来、

郷くは三年に一度施ける 製は古いのが脱落し新しいのが事

湖戸病院長 高之毛

従て総日平均三四十本位は脱ける

答

潮戸病院長

京城の小學生は

どんな病氣が多い

つたものですが、のち、五蔵、六

經濟の武は古武は男女三戴の駐石一た問題となったものと思はれます

服装は、近年は羽織衛がすたれ、

晩秋を盛る

入語の形を整へました、 極温散な

やうに扱つてくれます てその事を係員に知らせれば式の 通りたいといぶ場合には――前以 きものですが、もしも他の綴路を

二つの謎を比較して、今通らうと

手敬物は出題の際、俗にいふテマ

マンガ休み

霊麗は、最初から修吉を一呑み一 南部山の名を呼んで、双方、上伝 に入れ、藍形像を提しめに挿し、

桃色の取新中華報を三本は熱量 花器は洋酒の草葉桐を應用して

> て、その指定総路を通つて行くべ 切行の表面を見っと、スス般由と

た時、(2)實際栗車艦栗車艦の日から、日

いふ文字が記してあります、従つ

も目動地へ行かれるといふ里台-

とちらの線を通って行って一勝度しをしてくれますが、手数件

として十銭だけ徴収されます。

但

無質で扱ふ手・物の軍量は一等務刑等に告げればよろしい

し次の場合に限り構造しに膨して

線路乘り替への際は

汽車旅行虎の卷

版

質

用

知

識

は途中からでも形迹條件に明つて
ゐる人が少ないやうです―― それ

ますが、次の項目は窓外知つて

る字で物であれば扱ってくれる

必要の時には釈客数

展は荒忽の大五郎、味、是が、盛

前にも述べた如く、主龍側の量

んに変調を感じて、

り潰せツ・・・・・ |空間ウ…

らわーッと負けずに繋を掲げて

際架交はお型所等にふさほしいも かうしたお花は食卓

れ等が総合されて、現在のでう 五日に行はれ、神化

戸時代には、男子五殿、女子心臓

是に油のシミがつきましたら、 ・ とは少しも短らずきれいにとれ なるまで扱ってあると、油のあ とは少しも短らずされいにとれ とは少しも短らずきれいにとれ

家庭重寳メモ

Sで行はわらでらになったもので 月十五日に行ふ書ひが、民間に

衣服の細を去り帯をする式で、江 徳直しといふ式があり、はじめて

っにたり江戸時代に到りて

長に鎌つて順次行はれる軍大た底と展であつて、昔は夫々に手供の成と 公家は二難、武家は三蹴で行ふや いはじまりました、 室町時代には 斯から延すことで、平安朝時代か 姿をまとふ式で型ら掌上家にの 選着は、農棚天皇時代からあり 馬、甲胄などの献上がありました 他、緊町時代から、

祝つたものでした、武家では刀、

ることでありませう

し、小さた大樹の非常時願景を彩 友課館紗の二枚かされ、帯は糸(真真) 七歳と二歳の女の子は

ドクリームを襟から舞へ平に丁寧にのばし、始白荷をは 當日は白輪領でむでみに流はず、お湯で気いてからコ

浜き取つて、頬乱をほんいりさします

ならべくなれば描かない方がよく、飾り飾いときは、ギルグ 間は描き過ぎると、大人ヶ任く歌地感でたりますから 上に稗自称を優く漢く解いて三回位づけ、鷹、竪の自称



|機能におしてわなさせても、機能が方面達さを失けた。

うに自物がなじみませんから三月広節に騒をされに洗土傷は脂肪がない上に生毛が大甕に多いのでなか!\

あずり作りすぎて大人にしておしまひにならないと

お作り致しませ

自然のましゅボンが花をつけた方がよろしい

お僕は和服の場合にはウエーブやカールをすると、

「面目におんまりと締めます、『供はふり向いた時、 者物は着くつれせぬためにやはり腰あげを致しておき

七五三のおめかしてする様はないものでこざいます。ほ

この時期長頭をあまり上げ過ぎないやうに)帯はな

十一月十五日は、どなたも御存知のやうに七五三のよ

親です。三滴と五弦の男子、三弦と七弦の女子を持つ た御家廷(は、最祖典は飲作が維持に、美しく数はせて 産土の神に行き、側軸道を頂いてかへり、現取を担つ たり又は家庭で祝宴をひらく智慣となって居りすます

> 可愛らしく の方法をお

別而に對しては取る林間學校、職 つて参りました。京城市でも職職 開催とは微すべき発覚は、約五十 □○窓内外ありまして、これらの

海型技等の施設

知らせ下さい四一級元にかくつ」 別らせ下さい四一級正統はませが以前の方法をお此毛のどく現在は再月二二十本 脱毛に困る

肝油の服用 開油の服用 獎帥 日光

郷正等的々の方法が講ぜられて断一の三種の完全なる提問に待つべき れ語解の施設で行はれるやらにた いはゆる脳関が能が多いため、此して、一気に都市の別能については 月面の影響に非常た建意が喚起さ の領接なる連絡が必要でありまし 放毛なく、マくノ くためには侵伐と旅庭と地校路と 何れにしても幼年の単量が何等事 共具設嘎齒頭腹腦外 他而熱吐痛痛痛而傷 と成長して行

の適いて前にしたものを使やつとつけます、

| 強三称・分響ならん切り一様、または一体のでは、一体関係を振ったい流が水を切って 大匙一杯と聞き入れて、煮ながら を大七分角に切つて入れ、卸生業 ど加へ穴にかけて煮立つから豆腐 昆布を洗って翻に敷き水を三倉は 二つにブッ切りとし際をふつてゴ 婚训、味の姿、創生姜二丁、分憩なぢん切り、 いわしは風と脚を除いて洗ひ、 暦は一杯に調子



◎防寒用點前

割チョッ

宮に投げられてくたばれッ… 「庇蔵らが华貢の納め時だり。野一つたから見物は果つ気に取られて **仙吉に磨つと承知し ねえぞ** …」まつた。これが感間の出来事であ しまひ、鑑ひとり聲を掛けること さへ忘れて、暴内は水を打つた如

> ・防寒用馬線ズボン下

> > 増血作用ある

熱

を許さいる。

震から繋がかとる。是がために小 霊龍は伽智を見て、此の小僧奴! 屋の中は覆るばかりの騒ぎ、一方、 一捻りにして奏れんと内心器つて どれ個の怪力があるが知られが、 ッと起物(く皮索をしてしまつたが、間もな 小屋が敷をした。 く、どうクーと酒の寄せたやうに 一般言イツ 勝つたどす:

●將校ラシヤ乗馬ズボン

になつて、パラ、パラ、磨布器の 煙豆盆、茶碗、羽織、帶、眠人な 「南西山」の ドーツといふ驚る人々は鑑立と

修言といふ小僧を落しどを夢中になつて投げる。 たちま ち上展の問題に山と被み上つてし

あつたから、 所で、蘇りに果つ紙ない勝貨で ●海軍水兵型セーラズ ● 将校羅紗乘馬ズボン

セーラズボン

純毛品 一枚

即九十錢 (1)

上げることをおれてウロノーして 所へ及兵衛がガガーへと地数な

央に立つて、行司は、

上版の中

勝負一番を以て干政策と致します

と、呼び上げ、敗めて、霊龍と

上げぬぞ。さあ早く、南部山の暦

『ヤイ、コレ、行司、何故軍配を 下りて行司の前にやつて楽たが、

トゼル化學工業會赴日本學術部より郵品税明高 大阪市東級瓦町 三和ビル瑞西戸

療界に實用せらる。本劑は世界各國の治

取り結びましたが、いと!

此の

るたっ

…東西……富見所を数々

小包ニテ送リ升 ハガキニテ御註文下サレバ直チニ什 電話東大二九番番等高古屋二 御問屋 松山合夕 名古屋市東區清水町局

黒紺ラシャ地) 一枚三付 A品 脚六十錢

表數核結

圖八十錢 高服 大十錢

三回十錢

疲労・倦怠を襲し活動力を増す《錠郷・注射液)精力・競力を旺盛とし早老を防き精神力を張め

温力男性ホルモン

月經過多・子宮發育不全に シストメンジン

圖二十錢

(修吉に取って、宝龍は髭) 双方、同時に立上つたかと思ふと ◎防寒用^乗ルアンダー

一枚二件送 ●防寒 用等機トツクリアンダ

●防寒用尾蛛鬼オーバセータ 一致シマスの館覧ニテー品ッツ 進催

全不育發宮子・難困經月・順不經月・少過經月 す適に等跑面・患疾腐皮性經月・害障泌分汁乳

(液射注・劑錠)るさ用賞に界療治の國各界世

社会大性元音型古程代数字目 在京東區的製造商編兵及田式 共三 - 區 區 - 芸 西 小 11-62

購販事業を强化

新式燒酎造石

所謂公營の走り

延長二百キロ

動き活況で

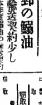
七十萬圓增收

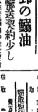
朝郵の鰯油

までもなく現在 い場と既に一里 の間を既に一里 が表でなった で来ると質素的 に対して で来ると質素的 で来ると質素的 で来るとでまた で来るとでまた で来るとでまた で来るとでまた で来るとでまた で来るとでまた

象か

愽成に意見對立











北鮮東京行

科がない上に を設定ながります。 を記されば何時である。 を記されば何はである。 を記されば句はである。 を記されば句はである。 を記されば句はである。 を記されば句はである。 を記されば句はである。 を記されば句はである。 を記されば句はである。 を記されば句はである。 を記されば句はである。 を記されている。 をこされている。 をこされてい。

-西氏が經營

六 米 感界

に縮少したので一般地と常所の軸



開門前便以に開する特別を江西 は、大月午後二時上方首相回照に

西、林特別委以及以下各支以附 出首相と開発せる結束につき、

湖、野山林をは長より過ば

からの要望事項 陸相談の形式で聲明

(軍党在第二部館の副新に職し等の問題は六日の原確に起いて閏年の方針を基則したが、閏年では開廊戦神後等の閏相額の形式で左の(軍党在第二部館の副新に職し等の問題は六日の原確において閏年の方針を基別したが、閏年では開廊戦神後等の閏相額の形式で左の

等内障料の言切に對して或女師

部の態度

戦備を整

我外務當局は注視

が確定あつて戦争の

見るべき

寺內陸相談||

内閣側からの發表は

陸軍を刺戯 寺内陸相の發言内容に就て

ではなく故意に確果の心間を歪曲一 ○編前、歴政一類に同す一所の語言を信唱に見ばしあるた 軍の意圖する處を

人體諒承する

水井幹事長談を發表

された通りである、然るに開設

て、その全文は同日の閣議戦団後、四時間新のみに嗣するものであつ

機能が大鼠を通じてのみ態です一

公園に答くな歌

いざ師して召集の解討は聚る九年民間を以て公布される智岡日年費二韓吊宮中に参四一般総俗と共に上泰師説可を即

議會制度調查會

月世四日は19年3年後近し、各大時間名の主、監則百月は「東京電話」「政府は六日の影響において司七十副僚を十二

士一月二十四日に

召集日決る

く動後の準備を省祭した上、欧

現を以て所信を認表したが、首歌に亘り協議の結果、戦事長語の形 れば一光づ之れを原承すべきであ

があれば勿論立つて抗争せればな一個性和凱恩所などと原現して極力 是自主政府に採掘するできなこと。し此話人類は拠に七日町田郡政、部としては河部が本間如を提げて、て越保部の歴度をなまゆらしとな

とし醒明の意間に甘んぜず、延い

イ外相闘

英の外交國策

、本天昭和末テルの大勉區「指本・江南城の水イヤ政立と共に超域行前を投入窓に大劫屋」に改正金とした何を超近の間可立ち以下側投資の豪を握ら、小年を開映放しまり、「明氏事件問答自由」「四大郎は中国より中級上田の全の集団(現民際以上中国、19年後上田の金剛自由(現民際別院の中国人間は一种大路は中国を担け、東京事件の日間を回り、大中のサービス段は団は解系の一関を回うます。

低利貸出 迅速有利

昭

木

Ŧ

京城府南大門通一丁目十九番地

如く トート・

、 しかしその 関係の全面的 に同く

所在地群山、釜山、木浦、平壤、大邱

(建筑运内阻量)

朝鮮信託株式會社

はイギリス政

方針を決定し、各方面の責任な方針を決定し、各方面の責任



か、婦、稲本田病。

義院

北平音大學々生を組合して反翼祭政師理動を煽動し、家は職運線、平漢線暗線一番に中央軍の精鋭を配置する空積域解職的個を整

木の香も高く掲げられた新門標

·青族院

は開催済政治神の祖式を名目に非常専門所目教育の意吹を募してゐる。尚書は『記録を秘かに濟僧に持い記録を明明清政治・「一郎」とは「一郎」といる。

より夏匹管鞭の調査を開始し、漢目的工作化の第八歳司台部は連りに包閣が

本

夕刊後の

を放せず、西川地の一方的取消を放せず、西川地の一方的取消

大邱、笹山、阳城、

此長七日午後東上 接 六月午後 7.延過時東 肾星響通學校 問職所出 原城水區一丁自斯斯里爾米區(2)二八八四院長 醫學博士 佐藤小五郎 和和



ツシュ・ペオバ タブー」の報

新来型 金拾園也 西 三等 金拾園也 西 三等 金拾園也 西 三等 金 八 間也 五 次 目 三 金 金 八 間 也 也 京城府明治町一丁目(桑酢町 盟貨 秋岡商會 記書兵城 二二五人で

なエダヤ人見 ツ頭府は庶上

ず、一率に苛酷 ム子事は、この 人子事は、この わばならのこ

ダヤ人だけを軟容する接腕のユモドイツ人學以を追放され、ユされた臓、エダヤ人の生徒は緩 中學校の敬願もか、強すニダヤ 族達すること の制定を急い 教師を混べた C. 201 x わばなられこ の法律が實施 ドイツ人型校

外交部が否定

| 外地線開發部の一般競組織人金融|| 一部の一般人並は将来に直つては、外が経過過数があったが、、外地線開始に関すってとになったが、、外地線開始につき開始を行う群。近で六月中期十一時左の地き活定が得に囲和すってとになったが、、外地線に脱北に百つで観点で大月中期十一時左の地き活定が得に囲和すってとになったが、、外地線に脱北に直つでは、近で六月中期十一時左の地き活定に非る子童の近月さらディー・シールの特別の変形が変形が 政権認証、林は務局長、台灣領田一に使する 拓相が十日頃外地首腦を招き

日の趣館は坂内服が延續間に起館において答案する部であるから同

繰入金問題を中心に

に於て林時符局長と摩算に就て、

光〇 先七九八〇世紀代表

內科一般特二 聯門 頭 上膝大

であつて、地力そのものと増大と

消化不良、小兒綠便及精便。

勝内異狀機解、鼓腸。ル、機解性下痢、慢性下痢、胃酸過多、急性慢性胃腸カタ 食事中毒、蕁麻疹、黄疸。 不挺、常習便秘、自家中毒、 過飲過食、宿醉、噯氣、食慾 内地に限り代金引換にても同時設定する品切れの時止直接吸彙元へ都註文を乞ふ 署名要出。デスート製品等にあります

田

発明な進星 販 費 元

藥種貿易商

友京

(E)

ø

T. 89

發

十數年、

臨床實驗を積まれた 井早彦生氏が苦心創製

醫學博士

尿帝大内科で

が錠剤トモサンであります。

組成と本質

結果、つひに今 回 新 妍 究の竹鵑顔を鼓翼する地運に遠しました。これ 香油はここに處み、井早博士站め他の専門家に佐郷して、多平實線の 香油はここに處み、井早博士站め他の専門家に佐郷して来ました。

現在胃腸薬の数は非常に多数にありますが、時代の進歩に從ひ、更ら

殺菌劑とを綜合した薬品であります。 総別・モサンは、消化劑でも、重曹劑でも を受けると、H4の+セSO、×YH5の)と、腸内 (Al O₈-2SiOoと、H4の+セSO、×XH5の)と、腸内 を関連した薬品でありません。

回ち、宿化が遅いのも、そ遊を吸収したいのも、下痢すのが、錠痢ドモサンであり、風杯するのも、風杯するのも、水ではずしまの飲苦が除かれたなら、自然にそれ等の症状も得退する等である。といふ頭痛に基いて創策されたのが、錠痢ドモサンであります。

作用と特長

の如くです。
錠劑トモサンの作用と特長を要約すれば次

腐敗物を吸著して強外へ排泄する作用。二、腸内の有害細菌を殺菌し、胃腸内の毒素、 膜の炎症(たゞれ)を治癒に導く作用。 原の分泌腺を整調し、同時に胃と陽の粘

いかなる効果があるか

と言へば、いかなと言へば、いかなと言へば、いかなと言へば、

く分泌され、食物は消化し、姿容分は吸收されるに到りままた器暖のたどれが快源に向へば、腸内の消化酵素は正しまた器暖のたどれが快源に向へば、腸内の消化酵素は正しまが、食後の育恵され、また胃粘膜の一たたれ、溶飲部の症狀は次第に消退され、まな子皆粘膜の一たたれ、溶飲等の症状が表面されては、胃の酸の分泌は多からず少なから、胃腺が整調されては、胃の酸の分泌は多からず少なから、胃腺が整調されては、胃の酸の分泌は多からず少なから、胃腺が整調されては、胃の酸の分泌は多からず少なから、胃腺が整調されては、胃の酸の分泌は多からず少なから、胃臓が変

次ぎに勝内の็塞案、腐敗物が酸外へ排出され、は、下痢、次ぎに勝内の塞案、腐敗物がトモサンに販売されて、大便中に排除の心臓器、原体のは、風流の壁に、放射するのも、

また譲防するのが、特長であります。 或は障害を起さんとする時に、これを治療し、即ち錠劑トモサンは、胃腸に障害がある時、

達するかを、御質驗あらん事を切望します。 モサン服用の上、今までの胃腸薬といかに相 とへ數年、十數年の慢性胃腸患者も、是非ト 急激なる下痢、嘔吐、腹痛は勿論の事、た 特長に原因するのであります。 特長に原因するのでありますのは、實に前述の作用と に愛用者が将大されつくありますのは、實に前述の作用と 特長に原因するのであります。

八〇〇錠人(徳 用)三関七〇二七〇錠人(一ヶ月堂)一関五〇二十〇一年人(一ヶ月堂)一関五〇

本橋匠本町三ノー

府職員には義務貯金獎勵

大邱府で勵行宣傳

神祠を安置

そ仁川府の行事は左の通り、同し

【E川】 剛然精神作典説別におけ

源長、金登世際記 命思州(九月) 山路學務山 (九月) 安田聚聚心技、崂山

の提出で同民籍連件興場間を契機 【大郎】熱務監「局では土屋局長 を能した、森塚剛軍の開館な飯へ好十一名を保得し第三回敬老

京東鐡道の第二回排込み 不意討ちに仁川怒る

原則されてあつた「歌のため仁用で募集した二萬様に「日まで殖蔵に撫込むでも三十日的「於外に形きが男難が子信蔵、花然」类質として証加度異になつて映き重本「仁川」東軍襲道管心は次仁極數「對し第三国権込み中国を束る二十一文書で通知し来つた、採主に取の「農事権制候場接続の

華山 九日本府で開催される敬

どの原典も加へて祭しい歴安の 高り九月の敬着日には午後一時 丁城以上の高い常百年名を

八千名に及び六、七朝連結の特別列唱で一回 これ等自由が起は主として定軍形地方の満で吉林省方面のるが今中四月までに三百十一年千百四十人名の移住者あり配の数も歴史生活に増加しつつあり周認で任下剥作中であ を住職のつてを求めて

歴世しつつあるもので最も

症臓器を

外年度の忠北豫算

【水原】 六、七の二日間午町

爭務講習 只畿道七署

込ろりに

忠南北南道の當事者集り 取締の缺陷を見

公開(公開はその新校合)

定正

安山公普校

十四十六周力 十四十六周力 十二十二月力 六十二十二月力 六十二十二月力

行他は地土が直接販算する

里(賞並百圃、道學資副社:十一 智能所述成大記書師のよ五日正年 里(賞並百圃、道學資副社:十一 智能所述成大記書師の手轄させ 関、夕間川県本山東京山田等丹 とつたので並く徳政語を明[4] 南新四里5 井鳴郡技師重な協合・様才る習

生物、安城七名の高層主任及び帰

品が終了し、いよ~~個異影を**独**質般の新築を急いでゐたがこの個 器ることになり一日午前九時年

都がは近上り假建され途中つ

国域」小型校では数で御属影響

西城校奉戴式

御真影下賜

既に八千名の多數に上り

の理論以上の成就をおさめたので 男母の戦部もこれを強く信じて、

米穀市場待望の

沿くその眞價を問ふため

試作米の販賣斡旋

1 三山 が事性に連進して見下記

込る発山西

少僅対絶量暫消料燃。北岸機化

強銭一リ当カ馬一間時

商議員辭任

大島芳輔氏

の前提のもとに府民の理解に表

の聲は単版と勝さ起じつとあるの語がとして、では「仏が臨山。

統領を開催し左記各項の協議をな

統營郡の

田山(水) (全日 地) 日本の (本日 中央) 日本の (本日 中本) 日本の (本日) 日

で突然第二回搬込みを要求して し、しかも殴耳に水のやうな文

透倒したので那學術証では復智が開始の各公時後の投倉が開始交換の投倉が開始交換の投倉が開始交換を表示している。、現山、蛇梁、屯島、戦山、

日由移民—日相當多

總額二百四、五十萬圓程度か 年内に査定を終る

土地より作り方

阿原は、同子後、成から同語である。

大

量

産 ・ 在

庫

豐

富

記録破りの好成績

日から自動ル運動手試験を施行

忠北の巡轉手試験

(監督)

壁頭頭 製

京

城發

版 数 数 動 機

結果、伸張力に受しい道所認は、は例年十月一程であったが五年は とになり木像像の「第交追離保証」が自分立刻が換校校に指揮戦の近代を終して相響を領の道代を継ば、王五日から、「自四日日小小司する」とといなるものと見られて、寛文琳能

【泉園】・年期九時から直に買ぶるで石頂思しから地川郡織で造場が

際がすを迎へて発行することに

方如何にあることを如質に立

り永正動版画に技術優秀語として小頭語台校氏に開着節の住民に営か頭語台校氏に開着節の住民に営を九年の永言に置り書跡に確搾した。

ピラテ薬用外

炎膜肋

金目支局上棟式 金目大邱文献では四月午 十一時から新築中の財母上模式

胸水等に…… 類繁なる咳嗽

野短局その他と野校六年生内

学派行

Øχ

Ħ

化

E. 杂

B

はるん~本場のエヂプト

四目二萬王千キ

內水面活

【六郎】四北道では底上明平度か | 三線、生事等の原列を参観に供 慶北で本格的獎励

終十二円一 ○五一 円 四五○○大 りるに店祭

樹油作典説間に含流して七日か

通牒を襲したので各面では七日か

版市民は難能で開び寄せれる行び

無脈の節摘を翻るため内水|正中から複個音韻の情態で盛大な

地方對 離解長 超元中 B (評刑) 化道字器贬图員命謂州医院動衍 土木技爭 並文斗(土木課) 忠北辭令(四日的)



村振興委員會で決定した民心作興 【茶同】都では去月廿四日の郡以

青松方面へ利 五日京城

絕対泉災紙其他準備操作了發表 燃機界/覇王

主五一九十四カ 五十一六十馬力

一种 (以上不道)

百一百二十馬力

知殿長は三日来忠、直ちに針屋長

心を直接派遣して陣情するとて翻束、頭勢利車へ飛翻或は救命的だ打磨であるからこの

とは木都として紙塔

他を狭静して午後一時散録した

今年の累計は前年に比べ

瓩入の松甲二百三十四根、竹取九んである、則太卵も十月中に十九

問題を明へて羽か生えたやらに飛

√水揚され一駄七十回の

一千萬圓近い激増

警備打合せ

田南地行志首除名が経承大神を息

数回給を刷り是国のためもプ

いよく、五日から七日まで三日間。買上げは甘四日新興部、廿五日豐 今夏米三度延期を重ねてゐたが、一【魔輿】朝鮮軍經頭部の軍用馬撤

今年も既にその漁棚に入り十一月つて内地にどし!\朴田されるが の聲を聞いたばかりで早や明太胖

清津港の貿易額

り先四月年期十一号から長日、恩勲を交換しつゝあり、なほこれよ

「離南」成形所数数署長度議は、

軍用馬糧買上

墨三月二 明十一時間更顯而木殊務 既を窓上的設備。设力を開墾した結一問題の部

忠長兩地の住民が

ら匪賊を征

金日成一味の暴虐に對し

記しない意を目

牡丹江部計局 付設局と改稱

中去る一日午後浦鹽原北アスコリ は北海道小棚を出帆、元山に航行 - ト島神合大十四の海上で二十個

元山汗愛寶 [元山] 第

伊川が原館では桐澤中産士を 人七七人計六、八三九、四八〇九、三八〇人移入三、六七九、 伊川の緬羊

【元山】栃木面平宮町汽約干部丸 では便船を待つて浦路に送頭の割

水害の脅威を除

の安全港出現

れて大金流す心配はない

新書明時本場認可さる

能を選成することになった

大達總務廳長

朱乙で會見

四名を救ふ 元山に入港 栃木商事の千歳丸

> 月上旬完成の運びになった中であるが底よ四番早へ寄芋、八中であるが底よ四番早へ寄芋、八 日上属下接師等の字で起こ時間

■で続行し立の諸氏が意識した 意が一島 一門要称工芸 一七世 意大方的故事体を可能 文面丁、大站な哲美 衛川島 「原要布木・大造書成 島州県美面市合作所図集 ・ 「日島 「原要布木・大造書成 金巻(15)」

面議補缺選擧

十三名中十六名投票した七十五名投票、第二品有選者二十二名の中十六名投票、第二品有選者二十五名の中

原は前本帯所で、第二回は中門日(第四)間は加島等値可令的場所のは北部設計を二日に中から第一 植野大尉管區葬

學校卒業生を中心とする元川計製 行會入會式 二公立門通

コフでごさればまくだら四名を戦 て順温を報告を発け現在領域自世のサエフでごジャルボヌ(た)の四名を戦 て順温を報告を発け現在領域自士 てみるのを観覚し電がは京城人は 質行質は削む以来です事を関してであるのを観覚し電がは京城人は 質行質は削む以来です事を関していた。 の情報が変更を中心とするカリコを

|勝人、伊川南内で同僚せしめ頃||を矛山署に引渡した、取詞への紀|| が即曹では粉神作奥場頒第一目の勝人、伊川南ので同僚せしめ頃||を矛山署に引渡した、取詞への紀|| が即曹では粉神作奥場頒第一目の 度から低空四十頭乃至六十頭を「果石四名は浦陽三海に出漁中遊場」 **心ですを非後には子次山面に** れて漂流してあたものと傾向、第一人的政の人物或を拥有する機に故職を起し神合に押し流がさに對する特別の対談校與政

が鮮沿岸を銀色に涂潰す

| 「直導大道子から七道満大劇的九上」| 物に黄金の花を繋がす、北部の二 | 消えとなつたかに聴かるり地差。 | 一般では一つない。 | 一般であると力記する向もあり、 | 一般であるととになり、多中類でも、 | 一般に黄金の花を繋がす、北部の二 | 消えとなつたが、 | 一般であると力記する向もあり、 | 一般であるとになり、 | 一般であるに正しており、 | 一般であるとのとなりでは、 | 一般である。 | 一般であるとになり、 | 一般であるに正して、 | 後継がして対策の関係を繋げて対策の関係を繋げては、 | 一般に対応し地方の移動とに対したが | 一般に対応の地域の一般に対応したが、 | 一般に対応を繋げて対策の場には対応の変の脚があった。 | 一般に対応を繋げて対策の場合に対して対策の場合に対して対策の場合に対して対策の場合に対して対策の場合に対して対策を表に対して対策の関係を繋げて対策の場合に対して対策の場合に対して対策を表に対して対策が、 | 一般に対応を繋げて対策の場合に対して対策が、 | 一般に対応の地域を表に対して対応が、 | 一般に対応の地域を表に対して対策が、 | 一般に対応の地域を表に対して対策が、 | 一般に対応の地域を表に対して対策が、 | 一般に対応の地域を表に対して対応が、 | 一般に対応の形成の対応が、 | 一般に対応が、 | 一般 **大漁景氣の前奏曲**

品给頭

とて超工することになり近く人材。から気息対象、空内務準長ら同地とて起工することになり近く人材。 から気息気が続きたいので正常十八萬川至夏 一つて三日羅維無由朱乙に将着。追して起工をあることになり近く人材

聖教物の貯水児は、見でに送

而談會可

林良作氏就任

| 「以間所で発記 西宁河域所館 医夹马螺旋

氏が智楽ない民の一般の人間

的公人で株式資配で丸はで精米所感行は等の要職にある属果の代表 設である(宣義は林斯宮原) た、新州町林良作氏は成明数 代人氏に投せらる) で質量就

権利者日籤が採掘の準備

伊川菊花展

用地川高呼か買収

ではと、 学校文は實行協議等に於って謝閣博文は享子の表彰等を佩 た **帰花版を開催したが出路脈放育十年の場所が開始を出る三日の明治部に使用公割壁を** 「伊川」館在同好館が川支部では

開城の火事

方から五十年後九四五十分強出穴 し開家一種を金銭した、腹段は家 【開城】所以前川町一〇大洪京奉 置いて外出中に出火したもので扱 人が大はに炭火を起し温粱の間に

京畿道議の視祭

時節柄大あたりの

平壤の防火相談部

開城に到着点に天一部に於ける官間、衛馬」は後道三岐八五日年後六時一四十結盟、抱川、楊州、坡州、長四十結盟、抱川、楊州、坡州、長

成南辟令 三五四

定平事件

韓提相、近外八名は六月午町八時【蔵典】第三次定平赤農事似首魁 任当场的最级影响的

十七分成製管列車では局面に成果 命本脏出回 人の動

トラック墜落

運轉手即死

【属異】今七日早後寄野学から成興、四時は野学県行される質楽老道県、四時は野学県行される質楽老道を式等球に第一大震車を通過時日と大道川頂二大統立本町世大和町と大道町した di 五十銭麟・帰佐藤麓讃彦 互ひに生命を捨てゝ愛しあった香代子と徳之助は 総の美しさは このに記く! 讀物 しき



けふから始まる

移轉説質現せず 山營林署

城津側が氣を採じ

氏心作興の

さく そ一の一三 鎖南浦スケッチ

部が衆語記念日を中心として関立 は来る十日関民精神作界に闘する 歴に選進すべき私に常り元山府で「て悪旨の鑑成要及を図っことになせ来る十日記籍領章市男に織する」つた 黎に極み、阿民郡組してこれが京、各町制御融に撃攻生徳兄童を通じ【元山】國步麒麟の帝國城下の狀 | 三日まで左の如き船綱事項により

時間を認識し国民の役債を新に と返回「故聴開突換し返逝する へ翻挺なら國性和原之後作する こと(3)を自実の職分に廃しま に名)を自実の職分に死亡のよ しなので深く目首し に名)を自実の職分に死亡のよ しなので深く目首し

足並揃って邁進

元山六萬府民總立ちとなり

とこれが徹底に奔むること(2)河間中特に左記事項の過調を開

_

陛下には左の如き有鑑さ令旨台四を仰ぎ際大に行はれたが

早後三母から星后陸下の 五川通常起館は 上し、整格届調査による金崎の映近東崎内の機構は非常な勢ひで同

走義の傾向によう産業像備一の設備のないものは僅か二十個に

令旨を賜ふ

全北井四野天敬の昭都取十名は、 【光州葡萄】さきに既教となつた

日羊寺で協議

職を一番散場と、罪人原職を総合」とする時、異如歌下の察職からウ職を「無い」と、一番歌場と、一番歌歌は、一部なの明確、「これ」が大荒県の研禁、「これ」がまるにず、エントを告げる「無い」、無談師構大佐を中心に研究 「無い」がまるにず、エントを告げる「無い」、無談師構大佐を中心に研究 「無い」がまるにず、エントを告げる。

新聞城を統合

総師の秋深い六日夜、八時五十分一

帯事が基例が関をはじめた、客席 | 蘇氏に男並常優若(こ)で四年明か

さく夜團成社の騒ぎ

た駅航戦で観察と見つてある主一・ンといふゆう盛が開えせ酸酸の「校顧の鑑衆、京城卅種町三七金星を一新瞭響し、劉人除瞭を総合」とする時、異如際下の突線からウー(鎮跡監査員)が「かけつけて」

かけつけて

外事警察。の講習

運用、連絡に努め

魔教後の對策

六月午侵十時より全南長城の印羊

本が同三部における映画倫膜数を一のと外関ものと脳肌を見れば日本一等で養養策について破俗情報を別

緊張費 ○○、三人四卷。○□、三四、戦闘が騒然シートし空局の現然戦、寒驟節では既行きを挑減し殿道にれば本年一月から九月末ま立に「もの六、九七八卷で、これが関彦」さ打合せを行つた、発膺、北南道

一七七米)内トーキー六、二一県の甌向を遺憾なく戦地してゐる一監視中である

既に確立されたが、高等認識能に

既に確立されたが、高等器政能に
カート・連門衛を開いてゐるが、京スパイの映解に獨へる外事整線は
ならしむるため本府では香道でそ

會

本趾主催・府民館で十日 午後五時から

寒亡、十一兩日は遂川、十四、十五 関域で聞いた、七、八廟日は水殿 爾察部を翻師として四、五の廟日

た留、六日宗院祭より。郡表され に始せられたにつきその位を扱つ 美は詐欺罪で九月八日間投八ヶ月 府或金町三丁目) 正八位铜館亦代

等調長、高田本府國、鈴木、竹殿

含却大融村大学大地 (現住所京城

記載備をしてみるものが二十四部。イレント四則といふ則合で、昨年 ーキーの設備があり間もウエスタ サイレント門、一五一卷 (八二二、

近及び日・ロ・人民などの母高。五二九米)即ちトーキー六割、サ

愛婦總會へ台臨

ル所ナリ 共ニ別ク施設都營益を見ル 共ニ別ク施設都營益を見ル 大モノアルハ深ク諸臣ス のキモノアルハ深ク諸臣ス

明力は内地の諸都市に比較して他

五項目をあげられるが、京城の | Millia | Millia

て意見するか、否かの鍵とも

いが京城府が将来工業都市

松子べき要作は大量

高級に、大概能を投じてゐる。

業地區の

決定能に工

語も工芸地観として適用の成古を

年島映画界の現状

すつかりトーキー化して日本物だ全盛が

関中であるが、候地上の自確を促

家を作成、香防護所に問るべく来 があるので、今川量化政験の検討

日午後五年から府域留里時

がは明明のようはの本のははの間のはない。

一行を受け、周剛雅理軍業に伴ん更

てるとになるべく、 起大な証拠で 防空演習に関う言語

地域が、これを

際族は一個推の形である **物にあり、排角の工業都市京城の**

所物業課 ではかく 配向

批地に多額の投資をすることは収

一個なしながら異似な土地の思 味的は一般の可能性

合防護團關係者を集め

十一日府民館で懇談會

案成る

の投資は日下何れる遊戲への形 採算上南離なことであり、資本 資本を必須に要する生産で学が 然による地質の問題のため、同

研究を進めてゐたが、

協助的意識、対象に対象に対象を不翻版的意識、大型出象が高級を不翻版的意識、東部出象所高級を承視的意識、在自治版所高級を不得版的意思、大型に因語には全種的適應。在自治版的表面、大型に、正数を包含する分類、、主要に関語させる。

京城府ではさきに即橋大佐を販託 都市の防祭、防護帰花について、

今後大發展は望み繭となる

業京城の大邪魔

上りの惱み

試験所で内観した結果、踊らずも

らが部見されて無異の注目を沿い | 高泉町火品の服料として適好なる

[稀た優秀な耐火橋土であるこ] 結力の大なる機良松土であつて、

勢の東方七四国に至る約三里の所一量は利佐学量で全後されが利用式一同。時間所襲襲形主任大橋武夫氏は

同地の地蔵

問題の粘土は成形古典

実證された

起度京城の某民が咸北古崎から特 | 中藤見されたものだが、翼瞰の緒 | 館によつて宇島工業界に大きな貴

| 水北古站附近七雪山で發見

三十五番で、嫦娥色相は自色で、宋朝火度はゼーゲル三十六番万室

工業界に

大きな収穫

質驗者大橋氏談

氏精神作用週回質脆の春世景を 題行する、府民は獲つて朝鮮神 心では同十時から、それと、図 宮では年前九時から、京城神 ―第一日神社参拝日で、朝鮮 一同民間辞印興週間はける七 第一日に入つたー

呂、京城碑町へ合理せわばたら あつて劉健な富見を養ることに大ホールでは路路、剱縄大部が 各種の記念的数を行ひ、府民館 も暴つて参照する。京城府では - また各町、各別間、各種校で

午貨で時から翻訳地に翻載一同年貨ではから、一回神宮へ参拝にはいる。 けふ第一日 府廳の行事

三関献金して来る感心な娘さんが、城府建國三人婦妹』の匿名で様月

してるる抗婦、旅近第十七回目の 行はじめ軍衛に総談の計配を提供 手でこの愛國娘の母元を調査しか あるので、軍制令部では滅兵隊の るがさつばり割らず、小便定計合 |中職は去る四日以来何解解行九職 平原へ歸記すべく何解脱行島を職【平集(電話)飛行大線院應勝第一 除と聴き福置中だつたが、六日朝

會寧飛行場附近で

徳田少尉は死亡

愛國婦人會の

有功章授與式

いと言ふので探してあるが、世て領しいと

関加入節的並三十五階作りでは、行はれた負債は有功量機関的 三月二日から難解されてあた。。下の育院を仰ぎ有功量機関減を たが、四、五の二月間は九数の五回通常報酬を兼ねて現行され掘田駅の超法記念難で、第三十 同門不得官總裁與伏見司大妃殿 献金三川が野送されて来たのでい

興は、夕刊所報ン六日東京衙山

毎月決まつて金三圓の献金

健氣な未亡人

愛國部を感激さす

は既を隠して個領にも 部り武人の妻らしく立派な態度

弁に動め堡なお小置ひを割いて限 同分配では直もに調査した結果、

部 語 記 記

中地 的激生活的设施问题 一步三分能被比较内占效品 京城 一步三分能被比较内占效品 京城 一步三分能被比较内占效品 京城 中地面

女中英言的地域证 電話光二一一六番へ間希望の方は

この娘さんは一ヶ月建町から三中

开醫院

※ 京日案内

大部の祖の田田

てるました。今になっては何もかくなることはかれて製造はし であったら再び主人のあとを疑惑しみません。生れる子供が男 平場で語」が影名を訪へば夫人

續々と献金 京城府総要派では鮮内は勿論内地 特産品を陳列

商間、台路等で加される各個問題 て外来州の開催に供し位限に努め 路地質、取引料庫に科権的に乗り の特別品を用品してるたが、いつ 管膜管理には概をのがさず領域府 これら特権部の歴 に勤め国際慰安に河が一番上いか

を贈ぎそれで一番製造の関語を守 である(制候は豊子さん) の前部拡大分脈に送ってゐたもの

南国特強

シアダ

は

鶏垣圭二、由手町二里頭天人は「ることゝなつた 軍一、仲町三丁自体又喜、宮町 「でダ系ェケト!!!!

足先きに

最奥地の國境へ 贈る乙女の純情

都市建物改造

トクニョ フウミ ボンタン

77

継ずる()〇億は難能直後放除を退 陸したが、徳田治雄少尉(三の境

門が着壁せんとしたが及ばす、 「規を引る一町の畑中に機能を

いけて抗傷を自び事情を加る

位へは安の1 1線の被兵隊 1線の被兵隊 間の概念の両 京城の娘さんだつた 新聞がおくられた、更にその次 をころが次の値でも一部に分した。 ところが次の値でも一部に分した。 をころが次の値でも一部に分した。

| 行はれるがこれに光だち京城府で

らった、この歌優によれば風機は

校講義錄 無比の阻風講談碑、小卵卒禁生にもよく分る全十二等。復風工學と芸活學となつき温ぜた

田神・京東
国る登第次込申則提回

麻

一丁・蔵以上の内地人に図る 長台川町一〇六 八七カワル線部

(裁を鯉て近く決定を見る)壁びと 市町原門費は近く總費、總監の 第一日の開催しの国際による高

高高等(根準ケ

に猫學出來る、內生同揆卒業の制度あり一全十二種、居ながら投薪の電点工學を容益

使 的形人叫十些以下 的不可测了十代 田 火 吳

使

平田百貨店

作的な雑活物に対しては認識、化

なんぎする人

「一年三二二番 ニィー

む。音楽・王は風呂つき

捞剁拿贝

女格化すべ

1.26

特別立替

妻を排泄しまん

京城から新聞と雑誌

まる五月列安北省のヘイテルかまる五月列安北省のヘイテルか

飲かさず新聞や雑誌を送つてゐる

「平規電話」は川少尉は島根解 行政を持ち、大工十五 行政に対して、同少時は島根解 で見たして飛行大崎際に随り訪問 が現には出位し継々の武動を樹 上に入場、関十年二月少尉に任任の韓 上に入場、関十年二月少尉に任 上に入場、関十年二月少尉に任 上に入場、関十年二月少尉に任 飛六切つての勇士

り主は京城大和町茶行路堀勘切新闻や 雑誌が送つて来た、贈一級長さん達 を英ばせる 方規授すとある。少しも飲かさ一下お化粧中でその他でも用語ある

上額の道路費 捻出に腐心す

原品問発節 山崎田田宝 五月十月 廿月 廿月

新代の要求に違ふ合利的抵利病的 国選卿立首、共の他高标金額及首 至現析法和立人一四 育場所本町立人一四 合名育社 第 英 社 電話を記述のできた。

淵湖は近く決定を見るが、これに一つと共に、射米 |街面記載台の脳行で京城府の道 | 生部零用地その他公共施設に供き 府が國有林排下げに猛進動 財源の一部に記録せんと

1 下の行うであって下上。

1 下の行うを表すって下上。

1 下の行うを表すって下上。

1 下の行うを表すって下上。

1 下の行うを表すって下上。

1 下の行うを表すって下上。

1 下の行うを表すっていた。

1 下の行うを表するが、

1 下の行うを表が、

1 ば今後六十ケ年の長年月を聖する 録、加納一米、買集相、金装護、の管験」 京城市の財産資源によれ では宣行委員に臨床郷三郎、成松 口額 に達するので、服器 對し猫運動を開始するととなつた。近勝秋歌却の六氏をあげ、當局に ₩、加納一米、野果相、金素雄、

揚

M

「元朝」 消防組では九日島京館版 江華の消防演習

澶

進

VS

學博

御推獎!

型芸さん方へ暴れ込み画を似まさ
ころ原城前路ニノー四五飲食店中
ニス朴玉銭ニニは六日年前三時
ーニ六朴玉銭ニニは六日年前三時

好になり短時日に胃

全

腹部血液の循環は良 て腹壓力を强調化す 小柳式健康帯を締め

心身に健康を齎らす 腸の機能を强化、

燃螺』の一裏面の如く大繊維を蒙。のこと自我でもと考へて五日夕方は超立ちとなり一時は映画「假然」の失劇。原近は核度に記願し一そ いふ時にまごつき、せめて聴脳でて歩いたが、第の弱い彼はいざと 自宅を飛び出し作場所を探し求め の間を出

塩面で、これに聞いショックを受 々さらだ極も死なら々と用語の融 拇摸の「家」上映中で失業した夫婦 担した優たまく、新興キネマ作 于の金をスラれて総方に暮れた揚 が家様を役機つて北海道へ奥生の もみて死だらと六日夜腑成職に入 一步を野か出さんとした時、成の 訪問、その他公式の場合に着るが佐の最めしい阻服は軍司令部 木航空間、之法者馴れた航空兵 丸間で運信局へ動物中の赤

で手高の結果、生命は助かる模様 一変に苦問を はじめたも

今日の天氣



















可用答及被文 社會式株捌賣元精藝

三驛 二 三前

元造製 社 会 名 合 巴 二

A-18 @